

IO-Linkのデータテーブル								
一般情報								
通信モードのIO-Link		COM 2						
最小サイクルタイム		2.3 ms						
SIOモード		サポート対象						
長さのプロセスデータ		8 Bit						
ベンダーID		297 / 0x0129						
デバイスID		102 / 0x000066						
データストレージ		サポート対象						
仕様、IO-Link		1.1.2						
プロセスデータ								
センサーのプロファイル								
Byte 0								
7	6	5	4	3	2	1	0	
X	X	X	X	X	X	X	スイッチングQ1	
識別データ								
指数 (10進数/16進数)	アクセス ⁽¹⁾	データ タイプ	長さ	サブ インデ ックス	デフォルト値	値の範囲	オブジェクト名	詳細
16 / 0x10	R	StringT	64 Bytes	0	Schneider Electric	-	Vendor Name	メーカー名
17 / 0x11				0	https://www.tesensors.com/	-	Vendor Text	メーカーのWebサイト
18 / 0x12				0	XUB5APYNM12 XUB5BPYNM12 XUB6APYNM12 XUB6APYWM12		Product Name	パラメーター「製品ID」には、完全な製品名（コマーシャルリファレンス）が含まれています。
19 / 0x13				0	XUB6BPYNM12 XUB6BPYWM12 XUN5APYNM12 XUN6APYNM12		Product ID	パラメーター「製品ID」には、デバイスのベンダー固有の製品またはタイプのIDが含まれています。
20 / 0x14				0	近接センサー	-	Product Text	パラメーター「製品テキスト」には、デバイスの追加の製品情報が含まれています。
22 / 0x16				0	-	-	Hardware Revision	各デバイスのハードウェアリビジョンの一意のベンダー固有の識別子（例：HW-V1.0）。
23 / 0x17				0	-	-	Firmware Revision	各デバイスのファームウェアリビジョンの一意のベンダー固有の識別子（例：FW-V1.0）。
24 / 0x18	R/W	StringT	32 Bytes	0	***	-	Application Specific Tag	パラメータ「アプリケーション固有のタグ」は、ユーザーアプリケーション専用です。「機能タグ」（デバイスの役割）または「ロケーションタグ」（デバイスの位置）として使用できます。
システムコマンド								
指数 (10進数/16進数)	アクセス ⁽¹⁾	データ タイプ	長さ	サブ インデ ックス	デフォルト値	値の範囲	オブジェクト名	詳細
2 / 0x02	W	UIntegerT	1 Byte	0	-	65, 130	System command	65：ティーチプロセスを起動します（インデックス59のフィードバックを参照） 130：工場出荷時の設定に戻します
検出パラメータ (1/2)								
指数 (10進数/16進数)	アクセス ⁽¹⁾	データ タイプ	長さ	サブ インデ ックス	デフォルト値	値の範囲	オブジェクト名	詳細
ティーチインのステータス								
59 / 0x3B	R	RecordT	1 Byte	0	-	-	ティーチインステータス	パラメータ「ティーチインステータス」は、ティーチインプロセス（SP1シングルバリュートーチ / インデックス2）のステータスと結果に関するフィードバックを提供します。このステータス情報は、「ティーチステート」と「ティーチフラグ」に分かれています。
		BooleanT	1 Bit	1	0	false = ティーチポイントxが教えられていないか、成功しなかった true = ティーチポイントxが正常に教えられた	SP2 TP2	SP2 TP2のティーチフラグ（XU●8 BGSのみ）
		BooleanT	1 Bit	2	0	false = ティーチポイントxが教えられていないか、成功しなかった true = ティーチポイントxが正常に教えられた	SP2 TP1	SP2 TP1のティーチフラグ（XU●8 BGSのみ）
		BooleanT	1 Bit	3	0	false = ティーチポイントxが教えられていないか、成功しなかった true = ティーチポイントxが正常に教えられた	SP1 TP2	SP1 TP2のティーチフラグ（XU●8 BGSのみ）
		BooleanT	1 Bit	4	0	false = ティーチポイントxが教えられていないか、成功しなかった true = ティーチポイントxが正常に教えられた	SP1 TP1	SP1 TP1のティーチフラグ
		UIntegerT	4 Bits	5	0	0 = アイドル 1 = SP1成功 2 = SP2成功 3 = SP12成功 4 = コマンドを待つ 5 = ビジー 6 = 予約済み 7 = エラー	ティーチステート	ティーチステータスの結果： 0 = アイドル、ティーチはまだ完了していません 1 = SP1成功、検出ポイント1のティーチ処理が成功しました 2 = SP2成功、検出ポイント2のティーチ処理が成功しました（XU●8 BGSのみ） 3 = SP12成功、検出ポイント1 + 2のティーチ処理が成功しました（XU●8 BGSのみ） 4 = コマンド待機（XU●8 BGSのみ） 5 = ビジー（XU●8 BGSのみ） 6 = 予約済み（XU●8 BGSのみ） 7 = エラー、センサーの前にオブジェクトがない場合 / 検出範囲外 / オブジェクトが近すぎる
検出ポイント								
81 / 0x51	R/W	UIntegerT	1 Byte	0	0	0 = 外部 255 = IO-Link	BDC1セットポイント 設定：IO-Link/外部選択	BDC1セットポイントの構成方法を定義します（IO-Linkまたは外部）
60 / 0x3C	R/W	RecordT	2 Bytes	0	-	-	BDC1のセットポイント	次の3つのパラメーターは、BDC1の検出ポイントを定義します
		UIntegerT	1 Byte	1	0	0...100	セットポイント1	BDC1セットポイント 1（インデックス81の「IO-Link」で最初に設定）
		UIntegerT	1 Byte	2	0	-	Setpoint 2	BDC1セットポイント 2（XU●8 BGSの場合のみ）
(1) R = Read / W = Write								

検出パラメータ (2/2)								
指数 (10進数/16進数)	アクセス ⁽¹⁾	データ タイプ	長さ	サブ インデ ックス	デフォルト値	値の範囲	オブジェクト名	詳細
検出信号								
100 / 0x64	R	Float32T	4 Bytes	0	-	0.1 ... 100	Read energy quantity	受信したエネルギー量を読み取って、信頼性の高い検出を行います。
101 / 0x65	R	StringT	1 Byte	0	-	0 = 十分ではない 1 = 限界 2 = 許容範囲内 3 = たいへん良い	Energy quantity result	レベルごとに受け取るエネルギー量に関するフィードバックを提供します： 0 = 不十分 (1.5～2.5のエネルギー量) 1 = 制限 (1.5～2.5のエネルギー量) 2 = 許容可能 (2.5～5.0のエネルギー量) 3 = 非常に良い (5.0～100のエネルギー量)
ポテンシオメータの設定								
80 / 0x50	R/W	UIntegerT	1 Byte	0	255	0 = ロック 255 = ロック解除	製品設定のロック	製品のすべての設定をロックします (ポテンシオメータの値と入力ワイヤの値)
83 0x53	R/W	UIntegerT	1 Byte	0	-	0 ... 100	ターゲット位置の読み取り	ポテンシオメータの最小値を%で返します (0%は最小位置、100%は最大位置を意味します)。値はオブジェクトの色と材質によって異なります。 1%未満の場合はティーチングはエラー7になります。 ティーチが成功した後、このインデックスから読み取られる値は、「BDC1のセットポイント」、インデックス60、サブインデックス1に対応する必要があります。
データパラメーター								
指数 (10進数/16進数)	アクセス ⁽¹⁾	データ タイプ	長さ	サブ インデ ックス	デフォルト値	値の範囲	オブジェクト名	詳細
稼働データの読み取り								
103 / 0x67	R	UIntegerT	4 Bytes	0	-	0 ... 2 ³² -1	作動時間	稼働時間数。データは読み取り専用であり、リセットはできません
102 / 0x66	R	UIntegerT	4 Bytes	0	-	0 ... 2 ³² -1	状態変化カウンター	出力変更ステータスの数 (オンおよびオフ) ターゲットを渡すと、オブジェクトの値が2 倍に増加します。
107 / 0x6B	W	UIntegerT	1 Byte	0	-	255 = リセット	状態変化カウンターのリセット	状態変化カウンターを0にリセットします。
機能パラメーター								
指数 (10進数/16進数)	アクセス ⁽¹⁾	データ タイプ	長さ	サブ インデ ックス	デフォルト値	値の範囲	オブジェクト名	詳細
タイマーの構成								
90 / 0x5A	R/W	UIntegerT	1 Byte	0	0	0=タイマーなし 1= オンディレイ/オフ レイモード 2= ライジングエッジが ワンショット遅延 3= フォーリングエッジ がワンショット遅延	Timer Selection	出力で適用するタイマー機能を定義します
91 / 0x5B	R/W	UIntegerT	2 Bytes	0	0	5ミリ秒、10ミリ秒、25 ミリ秒、50ミリ秒、100 ミリ秒、250ミリ秒、500 ミリ秒、1秒、2.5秒、5秒 、10秒、25秒	T1	タイマー機能のT1の値を定義します。
92 / 0x5C	R/W	UIntegerT	2 Bytes	0	0		T2	タイマー機能のT2の値を定義します。
その他の機能								
14 / 0x0E	R	Array of bytes StringT	Variable	0	0x01, 0x01, 0x00	-	PDInput-Descriptor	共通プロファイルでは必須ですが、拡散センサーには実装されていません。
出力パラメータ								
指数 (10進数/16進数)	アクセス ⁽¹⁾	データ タイプ	長さ	サブ インデ ックス	デフォルト値	値の範囲	オブジェクト名	詳細
出力の動作								
71 / 0x47	R/W	UIntegerT	1 Byte	0	0	0 = 外部 255 = IO-Link	BDC1スイッチポイントロジック設定： IO-Link/外部選択	NO/NC機能の設定方法を定義します (IO-LinkまたはINワイヤを使用)。
61 / 0x3D	R/W	RecordT	4 Bytes	0	-	-	BDC1のスイッチパラメーター	次の3つのパラメータは、BDC1 (出力 1) のスイッチング動作を定義します
		UIntegerT	1 Byte	1	0	0 = 反転なし (NO) 1 = 反転 (NC)	スイッチポイントロジック	パラメーター「スイッチポイントロジック」は、スイッチング情報が反転した方式、反転しない方式のどちらで送信されるかを定義します。出力機能をNO (通常はオープン) とNC (通常はクローズ) から選択します。最初のインデックスである71=IO-linkを選択します。
		UIntegerT	1 Byte	2	1	0 = 非アクティブ 1 = シングルポイントモード 2 = ウィンドウモード 3 = 2ポイントモード	スイッチポイントモード	検出モードを選択： 1 = 検出点が1つ必要な場合はシングルポイントモードが選択されます 2=近点と遠点と呼ばれる2つの検出点間での検出が必要な場合はウィンドウモードが選択されます (XU●8 BGSのみ) 3 = 2ポイントモード (XU●8 BGSのみ)
		UIntegerT	2 Bytes	3	0	0	スイッチポイントヒステリシス	パラメータ「スイッチポイントヒステリシス」は、ヒステリシスがセットポイントSP1およびSP2に関連付けられているかどうかを定義します。SP1とSP2に対するヒステリシスのレイアウト (対称、右揃え、左揃えなど) は、メーカーパンターによって異なります。FunctionClassで定義することはできません。ヒステリシス値 (相対値または絶対値) の解釈も、メーカーパンターによって異なります (XU●8 BGSのみ)。
出力構成								
70 / 0x46	R/W	UIntegerT	1 Byte	0	128	0 = NPN 128 = 自動検出 255 = PNP	出力機能タイプ	センサー (NPN / 自動検出 / PNP) の出力機能タイプを定義します (
40 / 0x28	R	UIntegerT	1 Byte	0	-	0 = オフ 1 = オン	PD Input	デバイスの最後の有効なプロセス入力データ。
58 / 0x3A	R/W	UIntegerT	1 Byte	0	0	0	ティーチインチャンネル	パラメータ「ティーチインチャンネル」を使用すると、ティーチインコマンドの適用対象である特定のBDCまたはBDCのセットをアドレス指定できます。最大128のBDCをアドレス指定できます (XU●8 BGSのみ)。
(1) R = Read / W = Write								